

# 副会長就任に当たって

杉置区 勝島敏明（直江津天王町出身）

去る五月二十八日の総会において、副会長を仰せつかりました勝島敏明です。

浅学非才でその任に必ずしもふさわしくないのですが、これまで受けた数多くの恩義に感謝すると共に、ふるさと上越の応援団の一人として恩返しのできる積りで、推挙されるままに、わが身の無能さを顧みず、お引き受けした次第です。精一杯努力する積りですので、皆様方の絶大なご協力とご鞭撻を心よりお願い申し上げます。

私は現在直江津高校同窓会関東支部の支部長をも仰せつかっております。前副会長の今井勇さんと同様、直江津の出身ですので、今井さん亡き後、直江津出身の代表として、副会長に推挙されたと理解しております。

Jネットは現在までのところ高田出身

の会員の数は多いのですが、直江津出身者は比較的少ないと認識しており、会員増強も私に課せられた一つの重要な使命かと思っております。勿論会長を補佐して会務の運営に積極的に携わらなければならぬことは当然のことでしょう。幸い、和久井新会長は多才で、かつアイディアマンでいらっしゃるし、松川副会長ともども有能な人材ですので、私はそれらの方々の足を引っ張らないようにしていくだけでよいと、多少気楽に考えているところです。

さて、上越市も新たに旧十三町村と合併し、面積の上でも人口面でも大きな市になりました。新井市が合併に加わらなかったことから、地図の形としては大変奇妙な、恐竜の頭のような形となっておりますが、いろいろな面で期待の持てる「ふ

るさと」になって行く予感がするのは私だけでしょうか。郷土の産物一つ取ってみても、越後米、味噌、茄子、胡瓜等の新鮮な野菜類、酒、水、笹たんごなどをとつても美味しいものばかりです。誇りを持って、他の人達に勧められます。また、酒蔵が何倍にも増えたのはうれしい限りです。食べ物だけではなく、まばゆいばかりの自然、緑豊かな地の温泉など他に誇れるものが数多くあります。上越に生まれてよかつたな—と思っ

ているのは私だけではないでしょう。  
年齢六十五歳を過ぎ、第二の人生とはいえ、また現役の部分も残っているため、故郷に帰る機会や観桜会などの行事に参加できる機会はそれほど多くはないのが実情ですが、できる限りそれらの行事に参加して皆さんと交流を深めて行きたいと思っております。

今後ともよろしくご交誼のほどお願い申し上げます。ご挨拶と致します。

